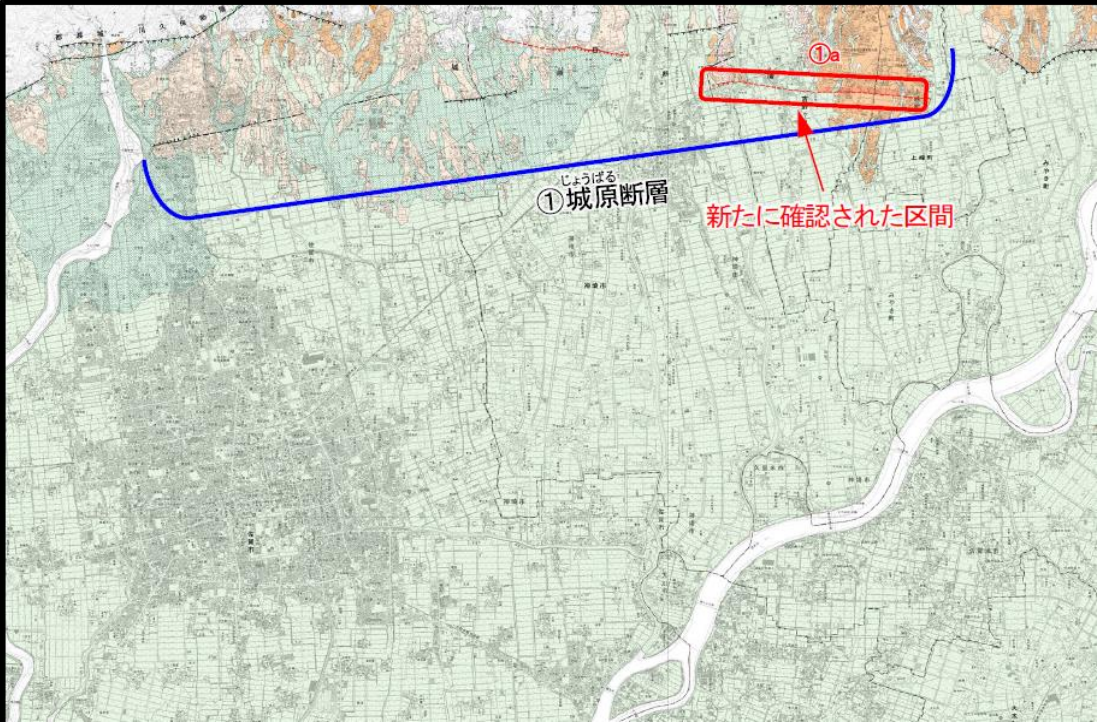
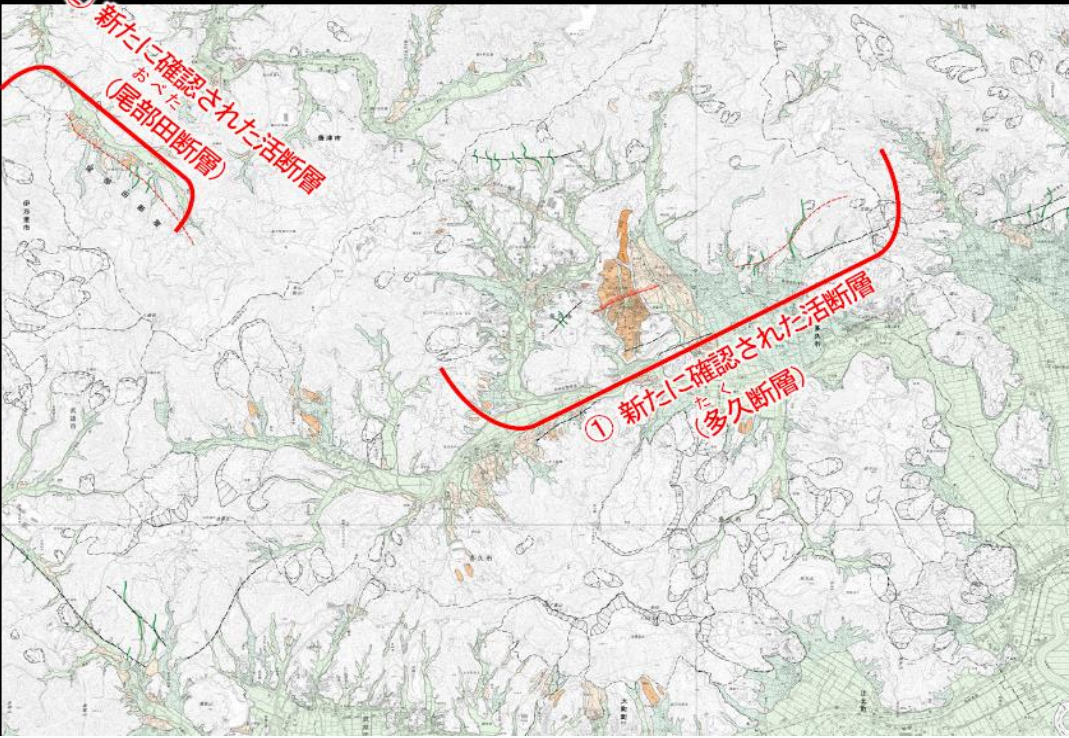


鳥栖市地域防災計画の修正に係る新旧対照表

項	現行	修正後	備考
14	第2編 災害の特性と被害想定 第1章 風水害 (略)	第2編 災害の特性と被害想定 第1章 風水害 (略)	
17	第2章 地震 第1節 本市の地域特性 第1 ～ 第2 (略) 第3 活断層 (略)	第2章 地震 第1節 本市の地域特性 第1 ～ 第2 (略) 第3 活断層 (略)	
20	■地震調査研究推進本部の評価対象 ○ 詳細な評価の対象とする活断層 主要活断層帯：①佐賀平野北縁断層帯、④日向峠－小笠木峠断層帯、⑤水縄断層帯 、⑩雲仙断層群、②警固断層帯 ○ 簡便な評価の対象とする活断層：③糸島半島沖断層群、⑨多良岳南西麓断層帯 ■地震調査研究推進本部の評価対象には含まれていないが、「新編日本の活断層」（1991年 活断層研究会編）及び「九州の活構造」（1989年 九州活構造研究会編）に掲載されている活断層 ⑦竹木場断層、⑭真名子－荒谷峠断層、⑪今福断層、⑫楠久断層、⑬国見断層、⑧西葉断層 ■上記以外で九州電力(株)の玄海原子力発電所の安全性に関する再評価資料で想定されている活断層 ⑥城山南断層	■地震調査研究推進本部の評価対象 ○ 詳細な評価の対象とする活断層 主要活断層帯：①佐賀平野北縁断層帯、④日向峠－小笠木峠断層帯、⑤水縄断層帯 、⑩雲仙断層群、②警固断層帯 ○ 簡便な評価の対象とする活断層：③糸島半島沖断層群、⑨多良岳南西麓断層帯 ■地震調査研究推進本部の評価対象には含まれていないが、「新編日本の活断層」（1991年 活断層研究会編）及び「九州の活構造」（1989年 九州活構造研究会編）に掲載されている活断層 ⑦竹木場断層、⑭真名子－荒谷峠断層、⑪今福断層、⑫楠久断層、⑬国見断層、⑧西葉断層 ■上記以外で九州電力(株)の玄海原子力発電所の安全性に関する再評価資料で想定されている活断層 ⑥城山南断層 ※ <u>令和4年9月に国土地理院から2021年活断層調査結果が公表され、今回の調査結果から、1：25,000 活断層図『佐賀平野北縁断層帯とその周辺「佐賀」「武雄』のうち、「佐賀」の図にある城原（じょうばる）断層を、東に約3km延伸し、約1.4kmの断層とすることが確認されている。</u> <u>また、「武雄」の図には新たに確認された断層として、約7kmの多久（たく）断層、約3kmの尾部田（おべた）断層とそれぞれ命名され、表示されている。</u>	国土地理院の公表による修正

項	現行	修正後	備考
21		概要 1. 1:25,000 活断層図 「佐賀」  概要 1. 1:25,000 活断層図 「武雄」 	

項	現行	修正後	備考
22	第2節 これまでの地震災害 （略）	第2節 これまでの地震災害 （略）	誤植の修正
25	第3節 被害想定 （略） 第1 基本的考え方 （略） 第2 想定地震の設定 1 想定地震の設定 (1) 想定候補となる地震 第1章第2節第3項で示した次の佐賀県内及び周辺地域の1 4の活断層について県内への影響を検討した。 以下 （略）	第3節 被害想定 （略） 第1 基本的考え方 （略） 第2 想定地震の設定 1 想定地震の設定 (1) 想定候補となる地震 第2章第1節第3で示した次の佐賀県内及び周辺地域の1 4の活断層について県内への影響を検討した。 以下 （略）	